

スポーツで街を豊かに

同志社大学スポーツビジネスCチーム

高田拓人 岡井紅都 杉本奈美
小山裕太郎 岡田朋大 池上眞



目次

1. はじめに
2. 研究目的
3. 研究方法・結果
4. 政策提言

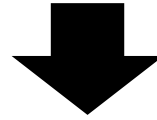


1.はじめに



はじめに: 戦後の日本

高度経済成長



都市部への人口流出



山間部での過疎の発生

過疎とは

①人口要件 (次のA、B、C、Dのいずれかに該当)

昭和40年～平成22年までの45年間の人口減少率

- A) 人口減少率が33%以上
- B) 人口減少率が28%以上で、平成22年の高齢者比率が32%以上
- C) 人口減少率が28%以上で、平成22年の若年者比率が12%以下

※ABCの場合、昭和60年から平成22年までの25年間で10%以上人口が増加している市町村は除く。

昭和60年から平成22年までの25年間の人口減少率

- D) 人口減少率が19%以上

②財政力要件

平成22年度～平成24年度の3か年平均 財政力指数が0.49以下

2. 研究目的



過疎の実態

1,718

日本全国の市町村数

616

日本全国の過疎地域市町村数



約3分の1

『© 2000-2014 全国過疎地域自立促進連盟 過疎地域のデータバンク』より

過疎の実態：全国での過疎地域における割合

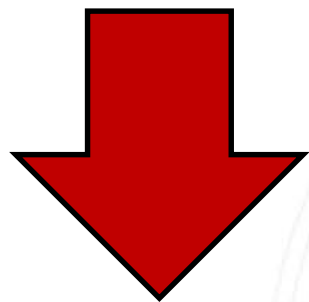
- 『平成24年度版「過疎地域の対策」について』より

過疎地域の人口： 全国の約**8%**

過疎地域の面積： 国土の**50%強**

過疎の実態： 問題点

人口の減少



空き家・廃校の増加
産業の悪化

廃校数と廃校後の利用例

施設が現存している廃校の数	5,100校	
活用されているもの	3,587校	70.3%
活用されていないもの	1,513校	29.7%

活用されていないものの内訳		
活用の用途が決まっている	302校	5.9%
活用の用途が決まっていない	1,081校	21.2%
取り壊しを予定	130校	2.6%

『H26文部科学省「廃校施設活用状況実態調査の結果について」』より

廃校の活用事例

社会体育施設

社会教育施設

体験交流施設

文化施設

老人福祉施設

児童福祉施設

改善策として

スポーツの可能性 でアプローチ

住民に**達成感**と**連帯感**を与え、街が元気に！！

3 研究の方法・結果



インタビュー調査 & フィールドワーク

① AS.ラランジャ会長インタビュー

実施日：8月20日

② 京北フィールドワーク(過疎地域)
&
インタビュー(AS.ラランジャ所属の京北住民)

実施日：9月17日

AS.ラランジャとは？

・設立 1987年

拠点：京都 内閣府承認NPO法人

・トップチームの活動

トップチーム戦績

2014年 関西リーグ2部準優勝

現在、関西リーグ1部所属のサッカーチーム

・スクール事業

京都府に2つのアカデミーがあり、その中に12のスクールを持っている。
グローバルな視野を持った選手の育成を目的とし事業に取り組んでいる。

・京北への働きかけ

発展にむけてトップチーム選手によるスクール事業を展開中



京北地域



人口 6,212人

『21年度京北地域における人口の推移、高齢化率、
要介護等認定者の状況』より

高齢化率 34.2%

『21年度京北地域における人口の推移、高齢化率、
要介護等認定者の状況』より

総面積 217.68km²

『京北地域のあらまし』より

総面積の9割以上が森林

『京北地域のあらまし』より

① AS. ラランジャ会長インタビュー



インタビュー内容と結果

Q 住みたいと思う魅力的なまちとは？

昔ながらの温かい街。
お互いを支えるコミュニティがあるところ。

Q 京北の発展により期待していることは？

自然の景観を残しつつの発展。

Q 京北が発展しても残したいものは？

風景・特産品など京北独自のもの。

Q 街を盛り上げるための戦略は？

スポーツを利用し住民集いの場を形成すること。

② 京北フィールドワーク & 宮崎さんへのインタビュー (AS.ラランジャ所属京北住民)



宮崎さんへのインタビューの結果より

AS.ラランジャの京北での取り組み

- ・学童
- ・サッカースクール
- ・高齢者の運動教室
- ・トレーニング科学を利用した遊び
- ・学校体育のサッカーの授業の請け負い



学童

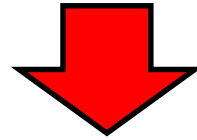
放課後のサッカースクールまでの時間に
宿題を終わらせるための**学童**の場を設ける



親からの評判が
よくなる

スポーツクラブと街のかかわり

街づくりの中心人物はスクールに通う子供の**親世代**



親とスポーツクラブのコミュニケーション

町内会議に積極的に参加

地域から信頼されている人から
信頼を得る

2人のインタビューの共通点

1. スポーツは街の発展の為の**きっかけ**になる

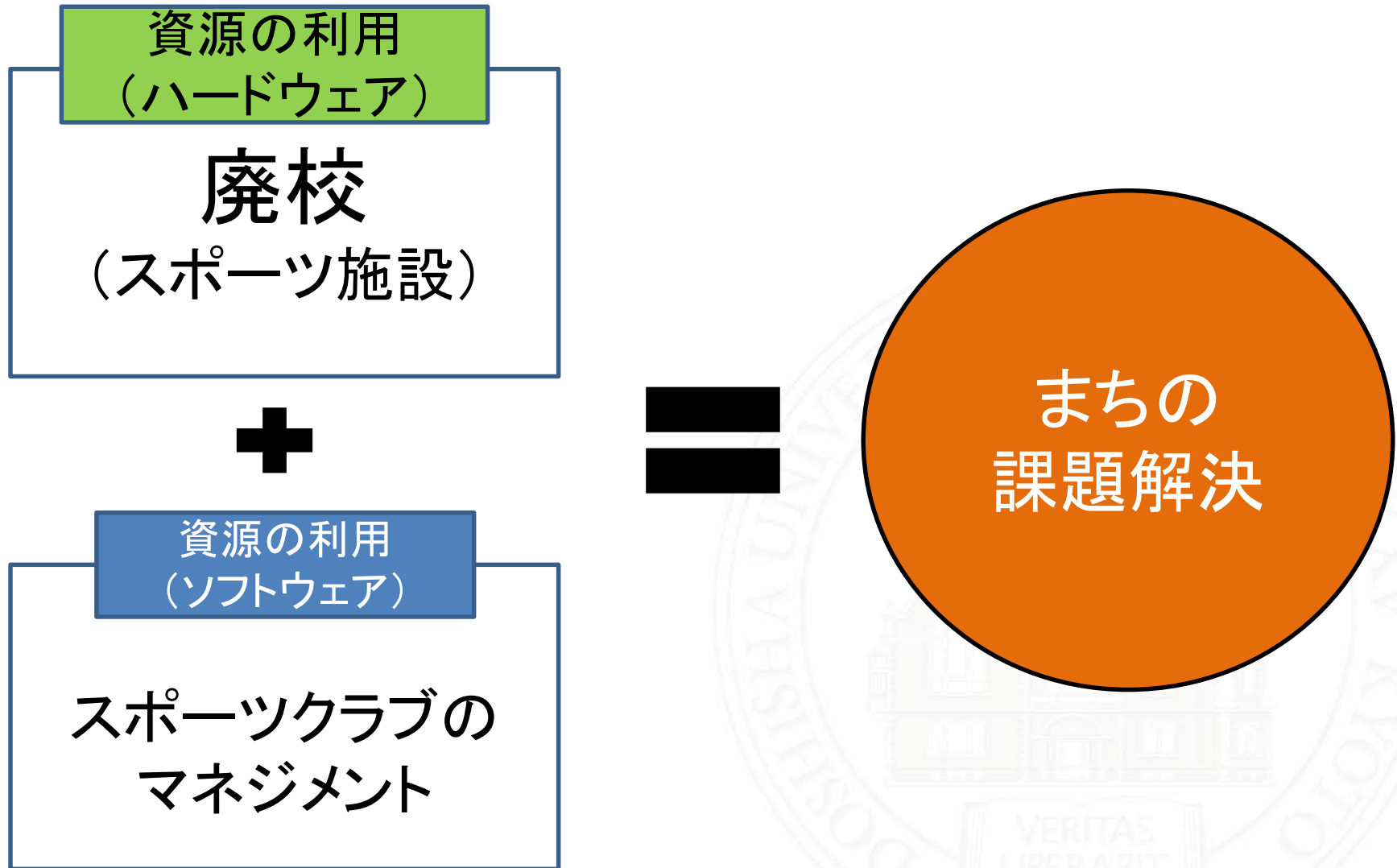
2. 日本の**古き良き景観**を残しつつ発展させたい

3. 過疎地域には**過疎地域ならではのよさ**がある

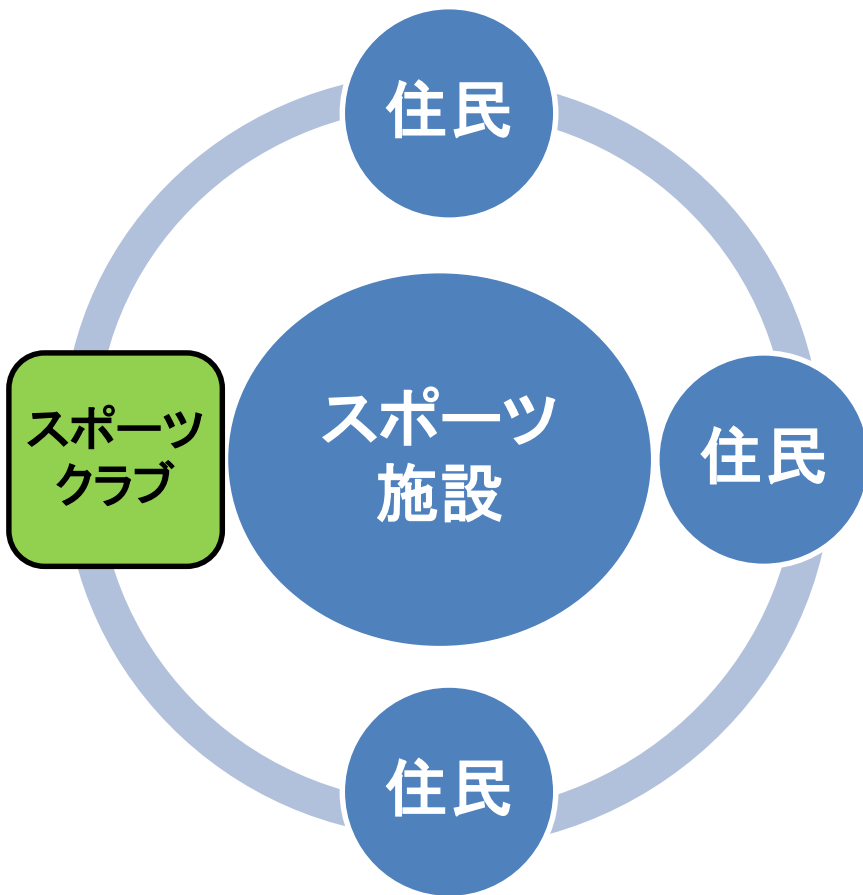
4.政策提言



4. 政策提言



政策提言： まちの課題解決のための施設として



- ・住民が**集える場**としての施設
- ・楽しいという**経験価値共有**の場
- ・住民が**運営に携わる**仕組み

政策提言によるメリットと期待される効果

A. 廃校(ハードウェア)利用のメリット

B. スポーツクラブ(ソフトウェア)介入により
期待できること

A. 廃校利用のメリット①

使い方に融通が利く

運動場・体育館をスポーツ施設として利用

教室を住民交流できるフリースペースに

特産品育成・販売施設

部活やサークルの合宿施設

講義の場



A. 廃校利用のメリット②

解体費がかからない

『総務省「公共施設等の解体撤去事業に関する調査結果」』より

1施設あたりの延床面積	1,416 m ²
平均解体撤去費	約3400万円

※平均解体撤去費用(円)と平均延床面積(m²)から平均単価(円/m²)を算出し、延床面積(m²)を乗じて求めた値を各廃校施設の解体費用とする

B. スポーツクラブ介入により期待できること

まちのコミュニティの活性化を助ける

具体的には

家族や
多世代間の交流

高齢者の
生きがい作り

地域の
スポーツ振興

B. スポーツクラブ介入により期待できること

コミュニティ活性化を助ける手段として

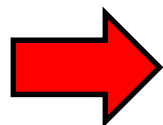
- ①スポーツクラブが
住民の**主体性を高める**
- ②スポーツクラブによる
学童的要素の導入

スポーツクラブ介入によって

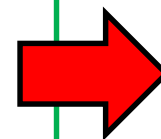
<住民の主体性を高める過程>

運動・健康についての**伝え方の指導**

スポーツ
クラブ



住民



住民

運動・健康についての**指導**

主体性を高める理由 その1

知り合いが指導してくれる

安心感

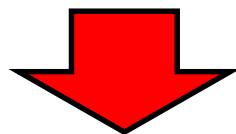


正しい知識を持った人が指導してくれる

信頼性

雇用

施設利用のシステムを確立することによって
新たな産業が生まれる。



街への人口流入

スポーツクラブ介入により期待できること

コミュニティ活性化の手段として

- ①スポーツクラブが
住民の主体性を高める

- ②スポーツクラブによる
学童的要素の導入

②スポーツクラブによる学童的要素の導入

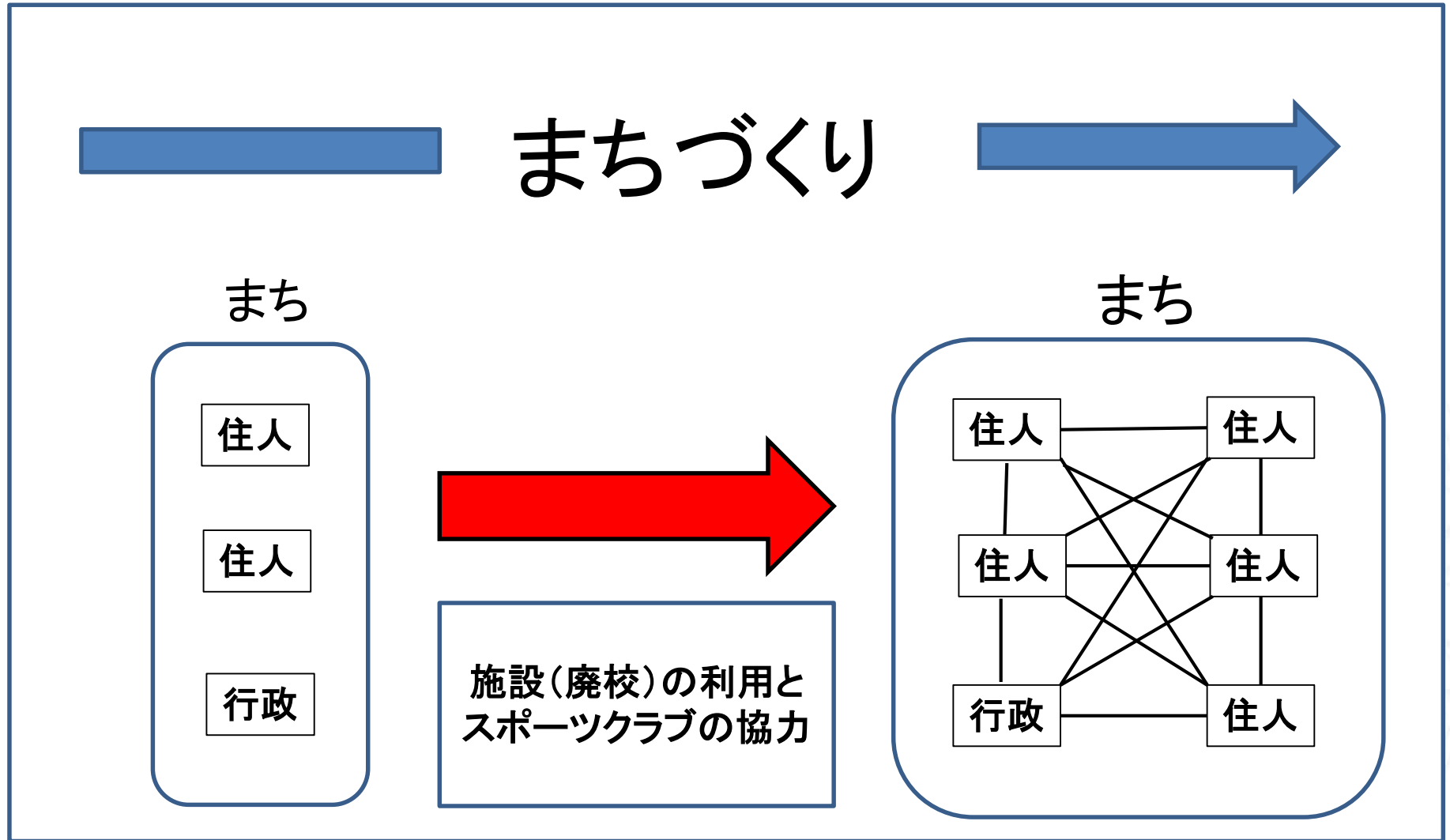
文武両道の
習慣作り

学校関係者
保護者の理解

施設利用者の
増加



政策提言： 地域住民がつながるまちへ



スポーツクラブ介入型の施設が
街の活性化のシンボルとして
住民の集いの場となれば良い



ご清聴ありがとうございました！

